



「まだ間に合う飼料増産！二毛作のススメ」

10月に入り、ようやく肌寒さを感じるようになりました。今年の夏は、まさに異常気象。粗飼料確保をしたい一方で、草地は大ダメージな夏でした。そこで今月号では、まだ間に合う来春に向けた飼料増産対策として、「大豆跡ライムギ二毛作」に取り組む際のポイントと、今一度確認したいロールの扱い方についてお伝えします！

奥州市江刺での
耕畜連携実証



大豆跡ライムギ



10月中旬に

- ①耕起
- ②整地
- ③施肥
- ④播種
- ⑤鎮圧



5月上旬

- ①刈取
- ②反転
- ③ロール

・播種量：7kg/10a

・施肥量：BBデントコーン専用肥料
80kg/10a

／実証では、慣行の1/2量施肥（40kg/10a）でも、収穫量、嗜好性とも慣行と同等の結果が得られています。
＼地力に応じて施肥量を検討してください。



R4.10.28



R5.03.30



R5.05.04

ライ麦畑は、土が剥き出しになっているので、いかに「土を混入させずにロールできるか」が重要です。そのためのポイントは三つ！

★ていねいな播種床作りが肝 ★高刈り15cm ★反転は1回まで

収穫後の残株はすき込むことで、大豆の良好な生育につながります！
水田利用経営体も畜産経営体もWin-Winな耕畜連携を目指しましょう！！



このほか、

- ・「稲WCS跡イタリアンライグラス」
- ・「ばれいしょ跡エンバク」

の作付けも管内で取り組み始めています！
詳細、結果については随時お伝えしていきます！

ばれいしょ跡エンバク
年内に刈取予定です！



R5.09.05播種

大豆以外に
スイートコーン跡や
大根跡でも
作付けが可能！



今一度！確認しよう！

～ロールの扱い方講座～

穴が開いてしまったら
すぐに専用のテープ等で
補修しましょう！



1 ラップは3回転巻き6層以上がおすすめ！

節約のため、ラップの巻き数を減らす…これは×！
巻き数が少ないと、ラップに穴が開きやすくなり飼料の品質が低下します。



ピンホールからキノコが生えるなんてことも…



2 保管場所で、ラップする！

ラップした後は、使用まで出来るだけ動かさないことが理想です。やむを得ず圃場でラップする場合は、発酵が落ち着く3週間程度は動かしてはいけません。長距離や頻繁な移動はラップの緩み・破損につながります。また、草地にロールを置きっぱなしにすると裸地の原因に…。



3 置き方は「縦置き」、積み方は2段まで！

横置きは、変形しやすくラップが緩んでしまいます。また、3段以上に積むと、ロールの重量で下段のロールが変形し、これもラップの緩みの原因に。ラップが緩むとラップに隙間があくので不良発酵につながります！



ロールを高く積むと危険だけでなく品質低下にもつながるよ！

《子牛を大きく育てよう！》～岩手県肉用牛飼養管理マニュアルから～

マニュアルのダウンロードはこちら→



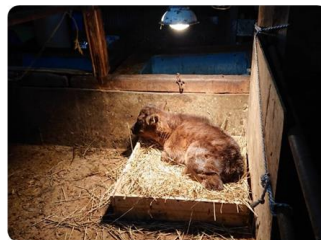
○ 哺育牛の飼養管理～寒冷対策～について

子牛は寒さに弱い!!!

子牛は母牛に比べ、「体重当たりの表面積が大きい」、「第1胃が未発達で発酵熱がない」、「体脂肪の蓄積が少ない」、「体毛が短い」等の理由により、寒冷ストレスに弱いことから、十分な保温対策が必要になります。

〔寒冷期の管理のポイント〕

- 体を濡らさない
- 冷たいものに触れさせない
- すき間風を当てない
- 飲用水の水を温水に変える
- 保温する
- 牛舎内換気を実施する



簡易ベッドの活用で底冷え防止



カーフジャケット等による保温



お問い合わせ >>>

奥州農業改良普及センター 0197-35-8451
一関農業改良普及センター 0191-52-4961

